

# もっと徹底しよう！ 路上喫煙・ポイ捨て禁止

苦情が絶えないのが、路上喫煙と吸殻のポイ捨て。皆で積極的に声をかける雰囲気を作りたい。区で雇用している指導員は、録音テープを流しながら駅前立っているが、積極的な呼びかけを行っている印象ではない。啓発方法を工夫するべき。

区：改善したい。



## 給食のアレルギー事故防止策・子ども達への教育を



昨年1月の区内小学校での食物アレルギー事故を議会で指摘したところ、区では6月に報告書を取りまとめた。その後、調布市では死亡事故（昨年12月）があり、再度、アレルギー対応の重要性が明らかになった。区を取り組み状況は？

区：調布の事故で学校現場の認識の甘さが指摘されたことを受けて、全職員に周知を徹底した。報告書に基づき、各校で取り組みを改善している。

せの：アレルギーを持つ子ども自身が自分で身を守る力をつける教育が必要だし、クラスの子どもたちにもアレルギーを知る教育がされることが望ましいと思うが、どうか。

区：保護者と連携して本人の理解をすすめている。今は、一部の子供たちへの教育にとどまっている。今後、検討をしていく。

せの：いじめにつながる可能性もある。アレルギーについての理解をすすめて欲しい。

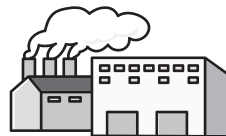
## 清掃工場で死亡事故 再発防止を願う

23区清掃一部事務組合・新江東清掃工場で、1月10日に下請けの荒川区内企業の作業員として従事していた荒川区民が亡くなった。

今回の事故を検証し、再発防止策を確立してほしい。2002年にも同様の死亡事故が起こったにもかかわらず、その教訓がいかされていなかったという。

今回の作業員が入社したばかりだったと指摘されているが、「人は誰でも過ちを犯すもの」という前提に立った労災対策が必要ではないか。23区区長会会長として区長のお考えは？

区長：そのような考え方で一生懸命取り組んでいきたい。



P1 から続く

### 障がい者雇用の前進を

私は、大阪の清掃分野での障がい者雇用の拡大の例をひいて（エル・チャレンジ方式）、総合評価入札制度での雇用拡大を要望してきた。障がい者を多く雇用していれば、入札が有利になる制度である。ようやく、荒川区でも、区役所前の荒川公園清掃の入札で、試行されることとなった。今後はぜひ、母子家庭の就労にも拡大して欲しいと思う。

また、区役所の仕事で障がい者雇用を拡大することについても要望してきたが、新年度から、契約・就労・障がい者福祉の各担当者が、「障がい者優先調達検討会」を開催して、知恵を絞ることになった。成果を期待したい。

### 子宮頸がんワクチン被害者連絡会が発足

3月25日には、子宮頸がんワクチン被害者連絡会が発足した。

健康だった女子中高生がワクチン接種後、歩行困難や脳障害など重い副作用に苦しんでいる。治療法もわからないという。副作用はワクチンを打つ限りやむをえない。ワクチン効果は6～7年と言われ、新薬なので不明な点もあるが、救える命の方が多い、という説明で始まったワクチン無料化であるが、接種は任意で、自己判断に任されている。

もう一度、ワクチンの効果と副作用の危険を検証し、対象者にきちんと知らせる必要があると思う。